

# かわさきTMO通信

<かわさきTMOの最新情報はホームページで閲覧できます>

## 2018年11月号 No.72

- 第1回ワークショップのご報告
- 事務局たより

発行元：かわさきTMO  
 発行責任者：会長 猪熊俊夫  
 編集責任者：サフトウンマネージャー 大木 淳  
 発行日：2018年11月1日  
 発行部数：1,000部  
 ◆連絡先  
 TEL：070-1458-5568  
 Email：okuyama-tmo@outlook.jp

かわさきTMO通信は「まちづくり情報交換誌」を目指しています。  
 お気軽に情報をお寄せください。  
 ご意見・ご感想・ご要望大歓迎です！



●第一回「かわさき未来づくりワークショップ」のご報告  
 九月二十六日(水)、川崎区役所第一・二会議室にて、「かわさき未来づくりワークショップ」が開催されました。参加者は企画者、オブザーバーを含め六十三名と大盛況でした。参加者の皆様は、相互に問題意識や課題を共有し、課題解決のための具体的なアクションについて話し合うことを主眼に、四つのテーマに分かれたテーブルを各二十五分毎に回って意見を述べていただきました。その意見の一端をご紹介します。

### A 観光・インバウンド

【地域のヒト、若者・学生、外国人、観光客、お年寄りに楽しんでもらう】

#### “工都川崎”

・工都川崎”を支えた台所、フード。  
 ・工場夜景、羽田空港。  
 ・外国人に人気のスポット。怪獣酒場、立ち食いの唐揚げ屋。

・ディーブで猥雑な街並み体験。  
 ・マイスターに学ぶツアーを外国人向けに。  
 ・神社・仏閣、旧東海道、日本民家  
 園、日本らしさ。

・もつと情報発信を  
 B 公共空間の利活用  
 “ストリートミートイニングスペース”

・(中学生から)商店街でブラスバンドの演奏。スピーカーで演奏を流してほしい。  
 ・落書き防止のためにオープンスペースに絵を書く。

・休む場所やキレイなトイレがない。  
 ・駐輪場が有料なのは、子どもに

とっては遊びに来たいのにネットワーク  
 【可能性があるのに使われていない】

・京急高架、電車から見下ろした駅前広場。駅前に降りたくない仕掛けができないか。  
 ・多摩川にアクセスしにくい。  
 ・競馬場、競輪場、やっていないときはもつと使えば。

・駅前通りのイチョウ並木のイルミネーション、復活してほしい。  
 ・人が集まれるイベントが少ない。

### C リノベーションまちづくり

【リノベをするとまちのイメージが変わる】  
 ・空地利用で宿泊施設を。  
 ・老舗との融合。

・インバウンド、子育てなど。(リノベによって)実践の場をつくる。  
 ・道路(通り)から変えていく。  
 ・点から面に。横丁の活用。  
 ・オーナーへのアプローチ。

### D 住まい・暮らし

“川崎グローバルコミュニティ”  
 ・外国人(在住者)に対しての情報

ツールがほしい。

・多言語表記を増やすべき。

・(外国人と)ご飯を一緒に食べて

コミュニケーション。

・三世代先まで住み続けられるまちへ。

【まちを良く(是正)すること】

・飲食店の(ゴミ出し)ルールの徹底。

・自分たちでまちをキレイにする。

・防犯カメラ、警備員などこわくないイメージ付けを。

【交通】

・違法駐輪対策。市と商店街が協力して(地域が主体で)。

・シェアサイクルは放置自転車対策にもなる。

・バス、鉄道の乗り換えの見直し。インフォメーションの仕方を考えたい。

・裏路地、歩道が歩きにくい。

・全体の将来像、ランドデザインからインフラを考えるべき。

こうした意見から見えてきた

【川崎のイメージ 川崎らしさ】

汚い、こわい、でも便利!

ガラは悪いが、治安は悪くない!



【これから目指すこと】

安全だけではつまらない!

ネガティブイメージを

ポジティブに発信 !!

“老若男女” という言葉がありません

すが、まさに街の重陳から中学生ま

で、職業も多彩な方々の様々な視点

角度からのご意見を賜ることがで

きました。感謝申し上げます。必ず

今後の活動に生かしてまいります。

## 第二回「かわさき未来づくり

### ワークショップ」開催のご案内

川崎駅周辺の活性化に向け、次世代のための明るい未来を創造していく具体的なアクションを生み出すことを目的とした「かわさき未来づくりワークショップ」の第二回は、募集によって集まったアイデアのプレゼンテーションを実施します。ご参加をお待ちしております。

日時：十二月十九日(水) 一四時半  
会場：川崎区役所(パレール三井ビル)7F 第1・2会議室

《お申込・お問い合わせ》

かわさきTMO事務局(松村まで)

電話：044-233-8874

E-mail:m-kosyoren@ace.ocn.ne.jp

### ◆事務局たより◆

いよいよ、「未来づくりワークショップ」が開始されました。

本日を含め3回にわたって、川崎駅周辺地域に対する要望や、多様な市民の率直なるご意見をTMOとして伺うことで、今後、目指すべき

【ランドデザイン】と、具体的なアクションを生み出そうとする試みです。

TMOは、昨年3月に【明日の川崎ACE戦略】を策定しています。

ACEは川崎周辺の発展に必要な不可欠なキーワード、【ACCESS】、【CLEAN&SAFETY】、【ENJOY】の頭文字をとったものです。

市民・生活者・来街者・事業者等にとつて、「便利が良く」「奇麗で安心」「楽しい街づくり」を将来像とするACEを実現戦略とし、この間、回遊性の向上、はみ出し看板等の監視、街を劇場にと【バスカー】等の事業を展開してまいりました。

今回のワークショップでは、TMOがこれまで行ってきた事業自体も参加者の目でチェックし確認していただき、首都圏の諸都市がオリピックに向け大きな変容を遂げる中、私たち自身も変わることを恐れることなく、「何をなすべきか」、具体的な提言と自らの努力を続けてまいります。

(リエゾンコーディネーター 伊藤和良)